

19m03教育方法論m

班別討議



全体発表(学力の登場と学力論争)



全体発表

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第3回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (学カの登場し学カ論争)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (新教育・登壇)

- ・ 基礎学カ論争
- ・ 学カにおける基礎
- ・ 学カモデル論争

→ 「新教育」に学カ「低下」3R'sではなく「生活の理解力」として「生活態度」と「基礎学カ」に
 → 「現代と生きるのに必要とする教育ないよう」教育内容「はたして」精選された、創造した教育内容・教員内容「が中心」の中で「はたして」働く学カに「教える」プロセスは「何か」対立的、競争的に進んでいるか
 → 「能力」を「根拠」として「計画可能」性を重視するか

■肯定的 web ()

まとめ ()

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・
- ・
- ・

■班としての要約

まとめ ()

- ・ 形式陶冶が実質陶冶
- ・ 3R'sは「授業の基礎学カ」、国民に求められたもの
- ・ 学カモデルは「21世紀の学カ」の基盤と見られ、「学カ」の基礎学カ

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- | | | | |
|---------|--------|---|---|
| ・ 基礎学カ | ・ 学カ低下 | ・ | ・ |
| ・ 学カモデル | ・ 3R's | ・ | ・ |
| ・ 新教育 | ・ 実質陶冶 | ・ | ・ |
| ・ 三層学カ | ・ 形式陶冶 | ・ | ・ |
| ・ 態度主義 | ・ 計画可能 | ・ | ・ |
- 学カモデル

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (「学カ」の立場と学カ論争)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (

- ・ 基礎学力論争
- ・ 学カ基礎
- ・ 学カモデル論争

■肯定的 web (

まとめ (

- ・ 児童の立ち場になつて
- ・ 児童中心
- ・
- ・

■否定的 web (

まとめ (

- ・ 児童中心すぎて、無統制、無方向になつた。
- ・ 方向性が乱れてしまつた。
- ・

■班としての要約

まとめ (

- ・ 確かに、「読み、書き、算」は重要ではあるが、
- ・ あくまで、勉強のための道具にすぎないので、
- ・ 今のだけの学習では、必要な知識が身につかないので、「新教育」のような、「科学、文化」なども含んだ学習が必要である。

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・ 読み	・ 書き	・ 算	・ 基礎学力
・ 学カモデル	・ 三層説	・ 計測可能説	・ 無統制
・ 無方向	・ 新教育	・ 児童	・ 新教育
・ 科学	・ 文化	・ 学校	・ 旧教育
・	・	・	・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。



全体発表(問題解決学習論争)



教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (問題解決学習論争)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

- 問題解決学習を推進する
- 知識の系統的な教授をよとする系統学習派
- ・ 子どもが問題場面に直面したときにその解決に必要にして十分な知識を得る
- 解決するには、最初以外の場合にもよい。
- 向よりも知識の系統的な教授が優れている。

「問題解決の質」... 大/小...

■肯定的 web ()

まとめ ()

- ・ 子どもが関心を抱いていると取りかかると
- ・ 自分で考えて思考力創造性を伸ばす
- ・ 実践的にも問題解決

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・ 経験している子といない子がいて場当たり
- ・ 作業が変化し指導に時間がかかる
- ・ 問題を扱えないという
- ・ 系統的、基礎的の母めを学習でよい
- ・ 可能性がある。

■班としての要約

まとめ ()

- ・ 問題解決と系統学習の間...
- ・ 全ての問題解決は大変

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
問題解決学習	・ 応用	・	・
系統学習	・ 関心	・	・
知識	・ 作業時間	・	・
問題の質	・ 教合	・	・
系統	・ ティー	・	・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 3 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (問題解決学習論争)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

- ・戦後の取り組みとして「新教育」
- ・1950年前後の保護者の不満から
- ・論争では、「知識観と系統性」と「問題解決の質」の2点

■肯定的 web ()

まとめ ()

- ・「新学大気」で「三層四領域論」を承認
- ・系統化した生活学習を行う「中心課程」
- ・従来の教科書も取りこみ「周辺課程」

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・「中心課程」と「周辺課程」から保護者の不満
- ・大人ができていない→子どももできていないのか

■班としての要約

まとめ ()

- ・問題解決論争は日本の教育に必要だったが、衰退していた。
- ・しかし、今後の教育である「系統学習」でのアクティブラーニングで示唆がある。

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- ・コトワリもみ整理
- ・中心課程
- ・保護者の声
- ・新教育者
- ・日本生活教育連盟
- ・周辺課程
- ・考文抄
- ・論争
- ・知識観
- ・新学大気
- ・たのしみ
- ・問題解決
- ・系統性
- ・知識と整理
- ・プロセスマネジメント
- ・三層四領域論
- ・学習指導要領
- ・「西陣織」
- ・大杉の問答
- ・問題解決の質

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■ 時代はついでに説明 各項目の整理合がわかる

全体発表(楽しい授業論争)



教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (「たのしい授業 論争」)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (「たのしい授業」やるにあたって)

- ・論争の背景、学校の教科が時代遅れになっている
- ・「わかる授業」から「授業はたのしいだけはないのか」という批判があった。
- ・「たのしい授業」の根拠の1つには研究活動と自己が「たのしい」ことにある。
- ・文字通り子どもたちを学習の主体として立ち上げようとするところがある。

■肯定的 web ()

まとめ ()

- ・「たのしい授業」は、学習者の能動性を重視する。
- ・「たのしい授業」は、多様な学習形態をとるよう努める。
- ・「たのしい授業」は、学び手の集団の役割りに注目する。

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・「わかる授業」からなる「授業はたのしいだけ」は「たのしい」だけではないのか。
- ・あやういし、2111のか。

■班としての要約

まとめ ()

- ・「たのしい授業」は生徒主体「たのしい」は今の時代に同じ
- ・2111。
- ・「たのしい授業」は集団とやることと学習にしか多くを思わぬ。
- ・「わかる授業」も大事なことにはかめられない。

キーワード 10~20 語

- ・たのしい授業
- ・論争
- ・時代遅れ
- ・わかる授業
- ・学習
- ・主体
- ・大事
- ・学び手
- ・科学
- ・数式

明日中に

- ・学校
- ・教科
- ・研究活動
- ・子どもたち
- ・能動性
- ・学習形態
- ・集団
- ・役割
- ・科学技術
- ・批判

概念系統図

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

3 第 ⁴ 回

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (新しい授業論)

■ テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (分かる授業に対して考察した 授業形式)

- ・ 理解の前にはまず 学習を促すことを目的とする
- ・ ゲームを授業に導入し 教材は回答者として、かくかくは
- × 出題者として同級生に問いかけさせ 発想力などを向上させる
- ・ ただ受け身的に授業を受けるのではなく 主体的に活動し 集団で課題解決にいく

■ 肯定的 web (EDUPEDIAか)

まとめ (わかる授業を 実現するために)

- ・ 問題を解くという成功体験を通じて
- ・ グループで課題解決していく
- ・
- ・
- ・

■ 否定的 web (EDUPEDIAより)

まとめ (生徒により内に乗込みを見せざるがは違ふ)

- ・ 個人の力 異なる生徒もいる
- ・ また、勉強 = 苦しみ というイメージ植えつけられて
- ・ 果敢 という発想がないもいる

■ 班としての要約

まとめ (生徒ごとの違い 認識と 個性 を活かす)

- ・ グループ でやるのが個人でやるのは 生徒ごとに違ふ
- ・ アクティビティ が重要といわれているように 集団で課題解決
- × (より良い のはいいことだが ある程度 教師者が 個性 を示してあげるのも必要

キーワード 10~20 語 明日中に 概念系統図

- | | | |
|----------------|---------------|------------------|
| ・ <u>わかる授業</u> | ・ <u>課題解決</u> | ・ <u>アクティビティ</u> |
| ・ <u>新しい授業</u> | ・ <u>授業形式</u> | ・ <u>主体的</u> |
| ・ <u>体験</u> | ・ <u>グループ</u> | ・ <u>成功体験</u> |
| ・ <u>競争</u> | ・ <u>個人</u> | ・ <u>学びの場</u> |
| ・ <u>形式的</u> | ・ <u>ゲーム</u> | ・ |

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

全体発表 (ICT活用例)



教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第 3 回

各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (プログラミング)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

- ・ 1 学年
- ・ プログラミング
- ・ プログラミング実習

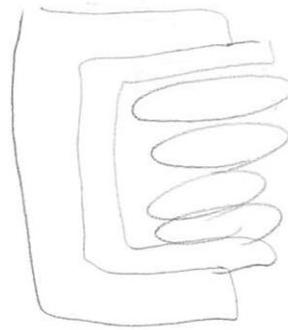
■目標、内容・指導の概略等

- ・ ソートしたときのやり方 (Python 利用)
- ・ 上記のがいねんの理解
- ・ スクラッチを用いた 流木の理解

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感想を述べたこと

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

スクラッチ



Python

```
for i in range(len(a)-1):  
    if a[i] > a[i+1]:  
        temp = a[i+1]  
        a[i+1] = a[i]  
        a[i] = temp  
    i += 1
```

■工夫した点、出典等

プログラムという文字だけを見て概念を理解させるが、まず、絵のようなものを見せて上から下へ用いるプログラムの流れを理解させることにした。

4*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に田いたものを 3 つ取

教育方法論 19m 班まとめ (授業者が書くこと)

第3回

各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと (指導案の要約ではない)

- 1) (班内) まとめ
班のテーマ (ICT 活用例)

■ 学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

中学2年 理科2分野

気象観測

天気の変化

日本の気象

自然の恵みと気象災害

■ 目標、内容・指導の概略等

- ・ 天気図の変化を参考し気象状況を考える。
- ・ 自然災害の恐ろしさも目で確認する。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■ 教材・板書計画、評価の観点・規準等

使用教科書: 検定済教科用図書等

板書は基本的にない

評価は発表、話し合いへの参加で評価する

■ 工夫した点、出典等

→ 実際の授業例は参考程度に留め、残りは自分で考えた

出典: 『デジタル授業方法を用いたICT活用資源研究サイト』

4*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に用いたものを3つ取

全体発表(確認問題2)



教育方法論 19m 班まとめ (発表者が書くこと)

各班ワークシート (確認問題まとめ)

1) (班内) まとめ
各問のポイント

■問1

- 読むこと
- 書くこと
- 計算すること

■問2

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 西洋 | 6. スコット |
| 2. 教育方法 | 7. 庶物指数 |
| 3. 教授理論 | 8. マスアロッチ |
| 4. アメリカ | 9. 実物教 |
| 5. 師範学校 | 10. 先進的 |

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと

■問3

- ① 順良 ② 饒 ③ 威重
- 献身的没我

■問4

- ・ ヘルバルト主義教授法
- ヘルバルト主義 日本
- ・ 近代的理念の教育目的
- ・ 5段階教授法 → 3段階教授法
- ・ 道徳性の涵養 → 五倫五常

確認問題... 確認問題...

教育方法論 19m 班まとめ (発表者が書くこと)

第 回

各班ワークシート (確認問題まとめ)

1) (班内) まとめ
各問のポイント

■問1

- 読むこと
- 書くこと
- 計算すること

■問2

- ・ 西洋
- ・ 教育方法
- ・ 教育理論
- ・ アメリカ
- ・ 師範学校
- ・ スコット
- ・ 庶物指教

- ・ ペスタロッチ
- ・ 実物教授
- ・ 先進的

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと
思ったことをのべよ。

■問3

「順良; 信愛, 威重」

大皇制国家主義を成る「臣民」の育成に
全力を尽すことが出来る献身的な精神
を持つ人。

■問4

「大正新教育運動」

大皇制を中心とした国家主義体制の
確立をはかるための学校教育が大正時代に
経済発展と並行して、自由主義思想が
広まり「新しい」「自由」な教育と求めるよう
になった。

2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り
組む時間や、問題内容と発表班との関係などにつ